

2017-B

I 6B

拠出金・基金
の名称

国連国際防災戦略事務局拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連国際防災戦略事務局

【所管官庁担当局課・室名】内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)

【当該任意拠出金の目的・用途等】

国連国際防災戦略事務局(UNISDR)は、各国が自らの力で防災を進められるよう、「第3回国連防災世界会議」(平成27年3月・仙台市)において採択された国際的な防災指針である、「仙台防災枠組 2015-2030」に基づく各国の取組の推進とフォローアップ等に係る活動を実施している。

我が国は、UNISDRのそれらの活動に対する支援を実施しており、本拠出金は、同枠組に明記された「より良い復興」に関する情報収集・発信、人材育成等の活動にも、国際復興支援プラットフォーム(IRP)を通じて活用されている。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	87,230	793		1米ドル=110円	
平成28年度	95,160	793		1米ドル=120円	
平成27年度	57,200	520		1米ドル= 110円	

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

UNISDRの活動により、「仙台防災枠組2015-2030」が第3回国連防災世界会議(仙台市)において策定され、また各国における同枠組の進捗状況を図るグローバルターゲットのためのグローバル指標のモニタリングを行うなど、様々な活動を通じて世界の防災戦略の推進に貢献している。

さらに、IRPの活動により、各国における「より良い復興」に関する知識の共有等が進んでおり、平成29年度においては、復興活動の経験をとりまとめた「分野別復興ガイダンスノート」をもとにした、人材育成ワークショップの実施や、「都市のレジリエンスを強化させるためのBuild Back Better」をテーマにした国際復興フォーラムの開催など、世界各地でその推進に努めている。

【備考】